

御正体山一文台山一尾崎山

山行日：2012.05.19

メンバー：単独

天候：晴れ

コース：橋本/6:20ー御正橋/8:35ー御正体山/10:25ー池の平分岐/11:23ーキレット
/12:00ーハカゲ山/12:23ー文台山/13:52ー尾崎山/15:20ー東桂駅/16:10



目指す御正体山頂が正面に見える
標高差 782m、準備もそこそこ歩き出す

バスを 2 回乗りかえて御正橋で下車したのは中高年の 3 名のみ



明るく眩しい沢沿いをしばらく行く



主尾根の白井平分岐に 9:50



ブナの群落帯を過ぎコバケイソウが出てくると
山頂は近い



御正体山山頂には単独行者が悠然とビールを飲んでいた



山伏峠から登って来たとのこと。
ここは展望は利かず先にすすみ
峰宮跡でゆっくりとランチタイム
とした



池の平分岐からいよいよ本コースに入る。ここは唯一の富士の展望台
雲の上に雪を被った富士が、となりにには大きな山容の鹿留山と後ろに杓子山頂上が見えていた



バリルート入るといきなり、ふみ跡は不鮮明、ヤブも深くコンパス、高度計で確認して慎重に・・・
樹林の隙間から辛うじて、これから縦走する尾根が見えていた。かなりのアップダウンがつづいている





尾根から外れて
左のヤブの急斜面を
笹に掴まりながら
一気に降り立った
ところがキレット。
大岩をすこし巻いて
直登したが、マークも
なく行ったりきたりした。
ここから
すこし先がハカゲ山



細尾根のどん詰まりでは
右に降りられそうだが
ふみ跡らしきものはない
降りたい誘惑を振り切り
引き返すと、巻き道が
あった



大岩は1枚岩
であり
降りなくて
良かった

だんだんヤブが
背丈ほどに・・・
両手でかきわけ
すすむ



開けたところで後ろを振り返るとヒカゲ山が尖っており稜線がノコギリ状になっていた



さらにアップダウンを嫌になるほど
繰り返してようやく文台山



滝子山—黒岳—雁ヶ腹摺山の稜線か

九鬼山—大桑山—高畑山—倉岳山の稜線がくねくねと見えている。下の赤い屋根は月待ちの湯？



双耳峰の今倉山から二十六夜山の尾根





さらにコレデモカと言うくらいアップダウンの後
終着点、尾崎山に辿り着く



そしてより駅に近い尾根をすすみ、民家脇に降り立つ



鹿留川、天然のダムを見る

国道から駅に向かう途中
尾崎山と文台山が大きく見えた



誰にも出会うことのなかったバリルート
ようやくバリルートの心地よい緊張感から
開放され、一路東桂駅に到着する。